

授業での活用事例

【内容】ICT機器を用いて考えを深める

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】

○単元の導入や考えを深める場面でロイロノートを活用する

1年社会科の授業（律令国家への道）の単元において、ロイロノートの「送る」機能と「画面共有」を用いて、一人一人の深めた考えを共有しました。導入では、小学校での既習事項である、「聖徳太子の政治」についての確認を行いました。回答はいくつかありましたが、およそ5分で全生徒が送信。生徒の回答①はその際生徒が送信したものです。

教師の問い①

聖徳太子が行ったこと（政治）を挙げてみよう。（小学校で学習したこと）

生徒同士で相談しながら5分で回答しました。

生徒の回答①

聖徳太子がしたこと。

- ・冠位十二階
- ・十七条の憲法
- ・法隆寺を建てた。
- ・推古天皇の摂政になった。
- ・仏教を取り入れた。

☆回答が出揃ったあとに、全体で画面共有を行い、既習事項の確認を行いました。生徒一人一人の画面を確認し、重要語句を含めた基礎的な知識を抑えることができました。

煬帝に送った聖徳太子の手紙のねらいは？

歴史漫画から中国の皇帝の気持ちを読みとりました。

- ・仲良くなって交流したい
- ・中国の文化を学んで日本に取り入れたい

- ・あえて怒らせて、手紙を書いた人物を呼ばれるように仕向けた
- ・いずれか中国よりも上になるという予言

☆ICT機器を用いたことで資料から読み取ることが容易になり、全体で意見の共有も行うことができました。

【終わりに】ICT機器を用いることで、生徒一人一人の考えの深まりが見えたことが利点であったと感じました。今後も使用方法を模索し、研究に努めたいと思います。

☆教育委員会指導主事より☆

「共有」はICTの得意分野ですね。「個の学び」を「協働的な学び」へと、いかに有機的につなげていけるかが大きなポイントになります。共有する範囲や方法、共有を個の学びに返すための手立てなど、多くのバリエーションの中から、授業のねらいに迫るための最も効果的なものを選択する必要があります。ぜひこれからも研究を続けていただき、良い方法がありましたらGIGAスクール通信で共有してくださいね。ありがとうございました。